

■催眠術なんて効きません



イロハ!
催眠術を
覚えてきたよ!

さいみんじゅつ
ワザマシンは
ありませんよ先生

サツキから
タマゴ
遺伝した

ゴ○ダックか
なにかですか?

「アギース」



というわけで
試させて!

そんな
子供だまし
通じないですよ

はあ…

そうかも
しれないけど!

ほおら
イロハは
だんだん服を
脱ぎたくなる

はいはい
脱ぎますよ
脱げば
いいんですよ

面倒くさい
ですね

ズム…



えっ

えっ



イロハ：
催眠術
かかったの？

そんなの
かかるわけ
無いじゃないですか



わ
私はイロハに
弄ばれてるのか？
それとも
催眠が
成功したのか…？

どっちだ!?

だから
かかってません
ってば

アッ



ほら
脱ぎましたよ
先生

ぬふっ

...



結局イロハは
催眠術に
かかっているの？



催眠術に
抵抗するのが
めんどくさい
ってことですよ
先生



私が言える
ことは





顎が
疲れました

めんど
くさい...

あれ
抵抗してない?



ちゅ
ぽん



ちゅ
ぽん



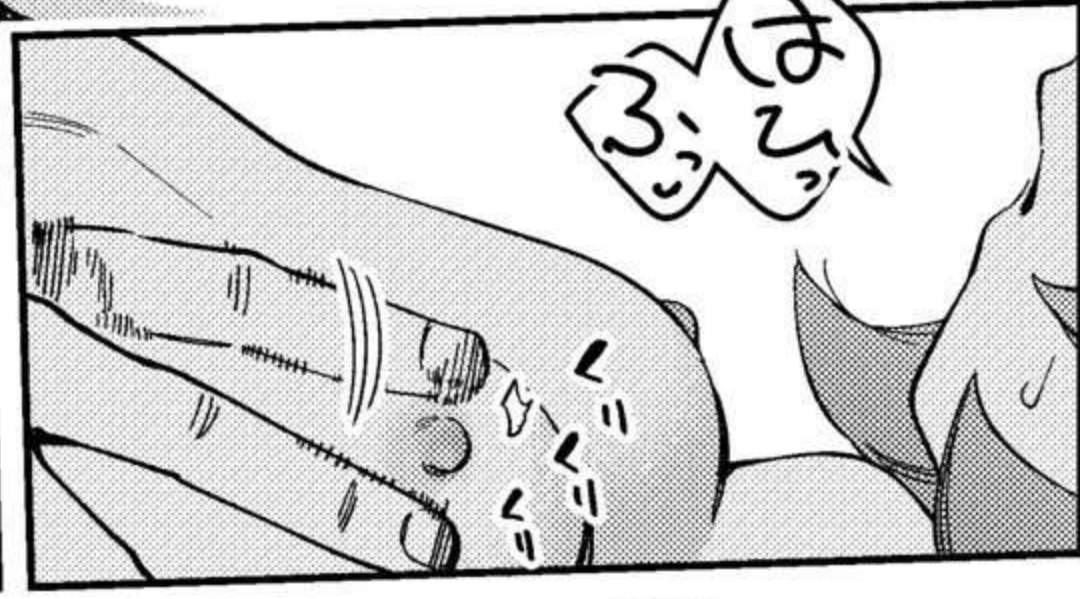
じゃあ
イロハは先生の
やることに
抵抗できなくなる



催眠術
かけるなら
かけるで

催眠される
側の我が
強すぎる









ほんと
ダメな大人
ですね
先生は



やっぱり
催眠効いて
ないよね？

めんどくさい
ので嫌です

イロハ：
二回戦を…

はぁ
あぁ



ぬ
ぽ



17.1/31

17.1/31





もうちょっとで
元気になれそう……？

ユウジュン。

